



高浜まちづくり協議会 まちづくり計画

- 高浜小学校区 地域計画 - 2009~2020

local community plan , TAKAHAMA



目 次

はじめに	1 ページ
1. 高浜小学校区はこんな地域 —現況と特徴・課題—	4 ページ
2. こんな地域になったらいいね！ —高浜小学校区の将来像とまちづくりの基本方針—	7 ページ
3. こんな地域にしていこう！ —まちづくり戦略計画—	8 ページ
4. こうやって取り組んでいこう！ —まちづくりの推進方策—	18 ページ
5. 参考資料	19 ページ

はじめに

(1) 地域計画 策定の 背景と目的

少子化の進行や超高齢社会の到来、核家族化から更に進んで「おひとりさま」という言葉までうまれる家族形態の変化など、社会環境は大きく変化しています。価値観は多様化し、物質的・経済的豊かさや心の豊かさを追い求めるだけでなく、“より良く生きる”、“自分らしく生きる”といった生き方の質の重視や幸福感を享受したいという想いの高まりが顕著になっています。そうした想いが少しでも実現されるようにと、社会の仕組みが変革されつつあり、その一つが「地方分権」です。

国と基礎自治体である市町村とが対等・協力関係に立ち、地域の自己決定・自己責任により、それぞれの個性や魅力を活かしたまちづくりを進めていこうという機運が、近年非常に高まっています。

高浜市では、2005年から「財政力の強化」「職員力の強化」「住民力の強化」をキーワードに、「持続可能な自立した基礎自治体」の構築を目指した構造改革に取り組んでおり、地方分権の流れをさらに地域に推し進めていこうと、「地域内分権」の取り組みに力を注いでいます。

様々な沿革や地形的特性、あるいは社会的、文化的特性を持った5つの小学校区で構成されている高浜市。その中で高浜小学校区では、2009年5月の「高浜まちづくり協議会」の発足を目標に、「地域でできることは地域で行う」、「地域だけでできないことは行政と協働して行う」を基本姿勢として、小学校区内の住民や各種団体が連携・協力しながら、地域住民の意識調査を実施するなど、地域の特性や資源を活かした個性豊かなまちづくりのための研究や意見交換を進めてきました（※P.19参照）。ここから生まれた、市民の視点からのまちづくり計画を、高浜小学校区の**地域計画**とします。

現在、高浜市では、自治体経営において最も重要となる計画、第6次総合計画の策定に着手しており、新たなニーズやまちづくり課題を整理し、市民や職員の幅広い参画と、協働により、高浜市の理想的なあるべき姿を描いていこうとしています。

地域計画は、高浜市の理想実現の一翼を担い、地域住民にとって一番身近な生活圏である高浜小学校区のあるべき姿を描くもので、地域の課題を解決する、あるいは、長所や魅力を伸ばし育て、**高浜小学校区の自主的・自発的・自律的なまちづくり活動の指針として策定するものです。**

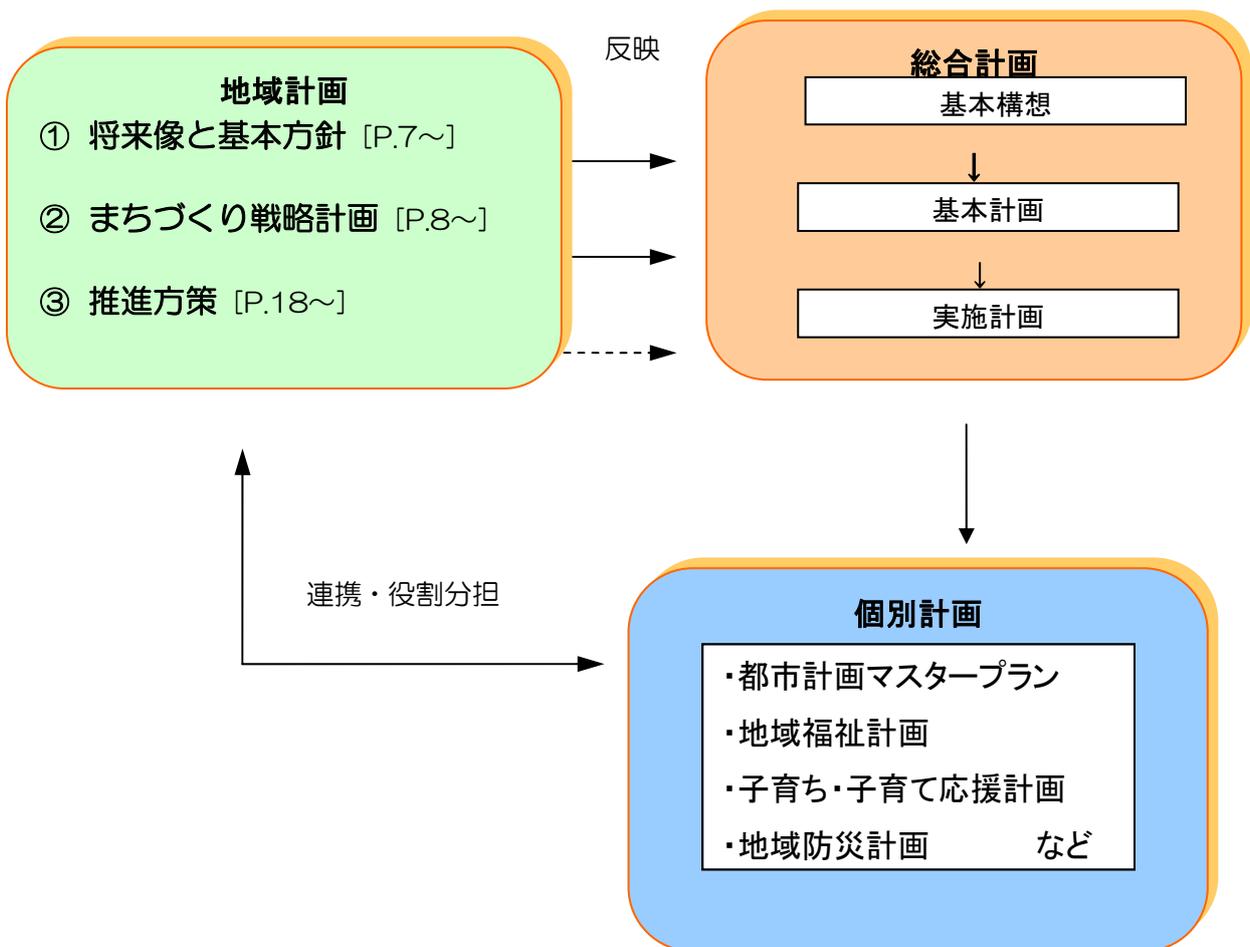
(2)
計画の
位置づけ

地域計画は、法制度や条例により位置づけられた計画ではありませんが、地域住民の合意形成が図られた計画として、まちづくり協議会設立準備委員会が主体となって策定し、総合計画と一体的に推進する計画として位置づけます。

地域計画は、今後、高浜小学校区のまちづくりを推進していくための指針となるものであり、地域と行政とが協働して実施して行くための計画です。

また、他の個別計画である都市計画マスタープランなどとは、連携と役割分担を図りながら策定推進します。

■ 地域計画の位置づけ



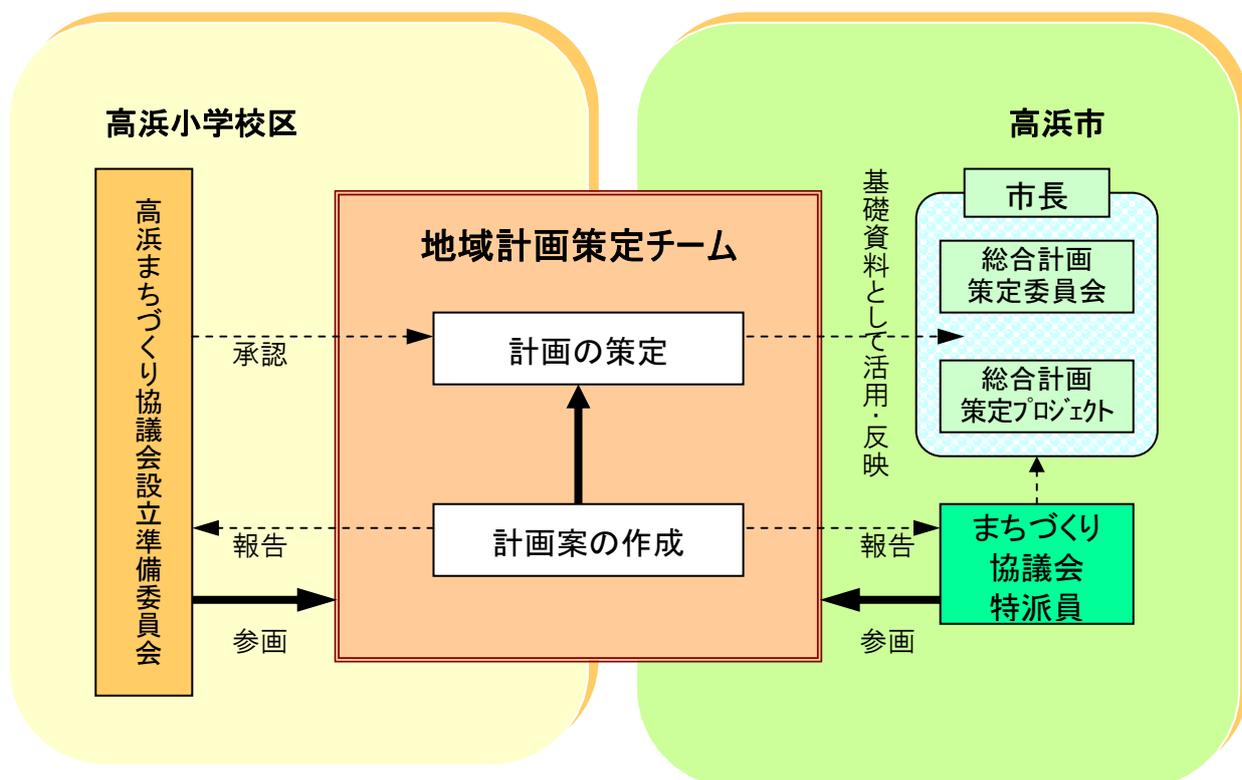
(3)
計画の
構成と期間

地域計画は、地域の将来像とまちづくりの基本方針、戦略計画、推進方策で構成します。

計画期間は総合計画との整合を図るため2009年から2020年までの12年間とし、原則5年後に見直し（必要に応じ見直し可）を行うとともに、当面、5年間に実施するまちづくり事業については、アクションプログラムとして位置づけます。

(4)
策定体制

地域計画は、高浜まちづくり協議会設立準備委員会メンバーである地域住民と高浜市職員（まちづくり協議会特派員）で構成する「地域計画策定チーム」が中心となって協働で作成し、高浜まちづくり協議会設立準備委員会で承認しました。



1. 高浜小学校区はこんな地域 ー現況と特徴・課題ー

(1) 高浜小学校区 の概要

高浜小学校区は、本市の中央部に位置し、市役所等の官公庁や公共施設が多くあり、中心商業地として発展してきました。

本地区は、もともと明治 22 年に誕生した高浜村に由来しています。

(2) 高浜小学校区 の特性

人口 10,028 人（平成 21 年 4 月 1 日現在）で、市内では 2 番目の規模です。近年の人口増加率は市内 5 校区中では低い地域に位置づけられます。学区における 65 歳以上の人口比率は 5 校区の中で最も高く、14 歳以下の人口比率は市平均よりも低く、少子高齢化が進行しています。

平成 20 年現在、**市街化区域面積の割合が 86.0%**で、5 校区の中で 2 番目です。市街地は、中心商業地、副核商業地からなる商業系地域、住まいと高浜市の地場産業である、やきもの（瓦、土管等）工場等が混在している住工混在地域からなっています。



交通条件は、南北交通として本地区の**中央部を名鉄三河線**が走り、三河高浜駅、高浜港駅の 2 駅があるとともに、幹線道路として**主要地方道・名古屋碧南線**が通っています。東西交通としては、地区の外周を国道 419 号、主要地方道・西尾知多線、中央部を主要地方道・岡崎半田線が通っています。



から瓦を中心とする窯業が盛んな地域で、

「鬼のみち」「かわら美術館」「土管坂」「衣浦観音」「大山の大タヌキ」などが、景観や文化遺産としてまちなみの中に息づいています。また、大山緑地の千本桜や、**えんちょこ獅子**（県無形民俗文化財）、**おまんとまつり**（市無形民俗文化財）なども、住民共有の財産として先人たちから受け継がれ、親しまれています。



■ 基礎データ

①高浜小学校区の人口と世帯数

※平成 21 年 4 月 1 日現在

- ・ 人口 10,028人 (※市全体 44,592人)
 - 年少人口(14歳以下) 15% (※市全体 17%)
 - 生産年齢人口(15歳～64歳)65% (※市全体 66%)
 - 高齢者人口(65歳以上) 20% (※市全体 17%)
- ・ 世帯数 3,753世帯 (※市全体 16,888世帯)

②面積 ※平成 20 年度現在

校区面積 2.14Km²

市街化区域面積 1.84Km²(市街化区域面積割合86.0%)

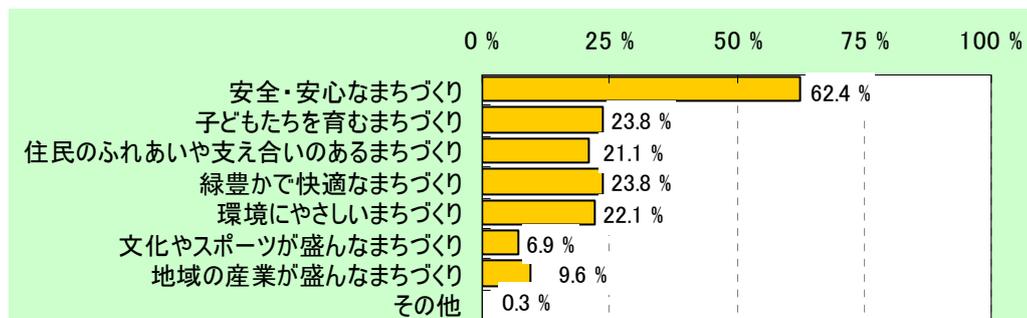
(3) 市民意識調査 にみる 高浜小学校区 の長所と課題

平成 20 年 7 月から 8 月にかけて、高浜市では「市民意識調査」を行いました。この調査は、無作為に抽出した高浜市在住の満 18 歳以上の方を対象に、今後のまちづくりに対する意識を的確に把握・分析し、第 6 次高浜市総合計画策定の基礎資料に資することを目的として実施したものです。

そこから、高浜小学校区は、市の中心地区で交通の便も良く、市役所等の公共施設や店舗があり生活に便利という点に住民が暮らしやすいと感じているという結果がでました。

反面、商店街の衰退や住民の高齢化、幹線道路の交通量の多さに子どもや高齢者の安全が不安、宅地化が進み自然が少ない・・・などという課題も抱えていることが浮き彫りになってきました。

また、地域住民が期待するまちづくりとして下のグラフのような方向性が見えてきました。



(4)
まちづくり
アンケート
にみる高浜小学
校区地域の長所
と課題

平成20年7月18日から8月5日まで、高浜まちづくり協議会設立準備委員会では、各町内会を通じて高浜小学校区のまちづくりに関するアンケートを行いました。

これには、890件という非常にたくさんのご意見が寄せられました。取りまとめた結果、主なご意見としては下記のとおりでした。

防犯について	272件
防災について	67件
子育てについて	76件
高齢者や障害者について	98件
環境美化について	241件
地域住民の交流について	100件
その他	36件
計	890件

具体的な意見で特に多かったものは・・・

- 防犯
 - ・お母さんが子どもの登下校に不安を感じている。
 - ・地域で安全パトロールをしてはどうか。
- 防災
 - ・地震情報と避難方法の明確化が必要。
- 子育て
 - ・いつも大人がいて子どもを見守ってくれる場所（児童センター等）や母子が一緒に集える場所をもっと増やしてほしい。
- 高齢者、障がい者
 - ・高齢者、障がい者が気軽に集える居場所がない。
 - ・地域で独居の高齢者を見守ってほしい。
- 環境、美化
 - ・緑、花の管理ができていない。
 - ・ごみ対策の見直しが必要である。
 - ・動物のフンが気になって前を見て歩くことができない。
- 地域住民の交流
 - ・地域のふれあう機会が少ない。

高浜まちづくり協議会設立準備委員会では、このアンケート結果をもとに、今後どのような目標をかかげ、また、どのような活動によって高浜小学校区の理想的な姿を実現していくのがよいかを検討しました。

2. こんな地域になったらいいね！

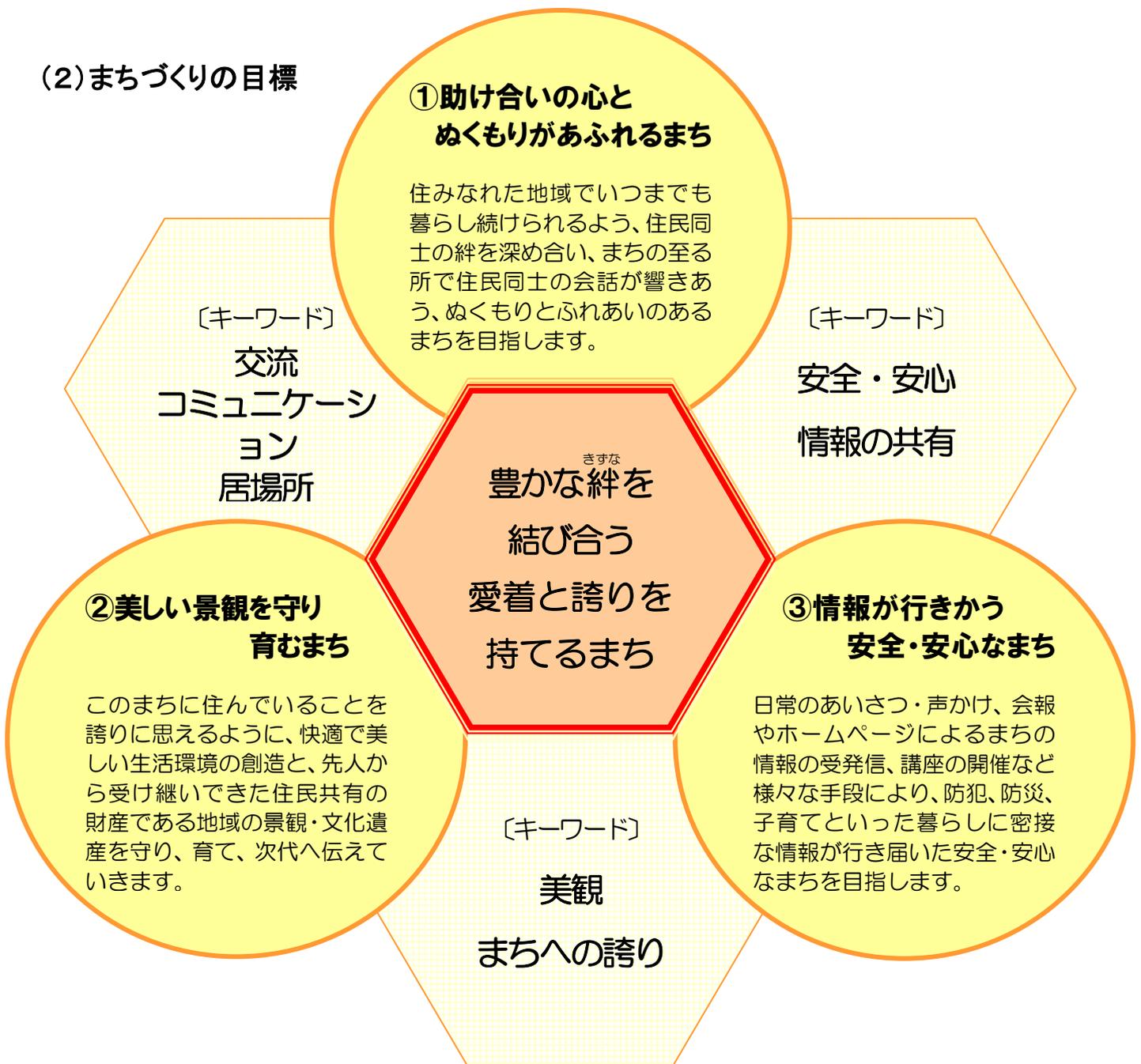
—高浜小学校区の将来像とまちづくりの基本方針—

(1) 高浜小学校区の将来像

前出の2つのアンケート結果と高浜小学校区の特徴をふまえ、目指したいまちの姿と課題を検討すると、高浜小学校区のまちづくりの将来像をあらわす言葉とそれを象徴するキーワードが導き出されました。そして、キーワードを具体的に展開するための3つの目標を掲げました。

豊かな^{きずな}絆を結び合う 愛着と誇りを持てるまち

(2) まちづくりの目標



3. こんな地域にしていこう！ —まちづくり戦略計画—

将来像「豊かな絆を結び合う 愛着と誇りを持てるまち」の実現に向けた3つのまちづくり目標に基づいて、次のとおり計23の事業を実施していきます。

実施にあたっては、優先度を設けて、取り組んでいきます。事業スケジュールはP.16にあります。

① 助け合いの心とぬくもりがあふれるまち・・・

1. 絆深め合い事業

- No.1 “高浜っ子” 応援事業
- No.2 ふれあい農園事業
- No.3 スマイルあいさつ事業
- No.4 高浜まち協大運動会事業

2. 地域の「茶の間」運営事業

- No.5 地域の「茶の間」(コミュニティプラザ) 運営事業
- No.6 プラザふれあい教室事業



② 美しい景観を守り育むまち・・・

1. クリーン・グリーン事業

- No.7 花とみどりのマップづくり事業
- No.8 まちを花できれいにしよう事業
- No.9 わがまちクリーンアップ事業
- No.10 鬼みちを歩いたらまちがきれいになっちゃう事業
- No.11 子どもとともに資源回収事業

2. 大山魅力アップ事業

- No.12 大山緑地「夢あかり」事業
- No.13 大山緑地“素敵”事業
- No.14 大山緑地・桜まつり事業(高浜まち協まつり事業)

3. 我がまち自慢事業

- No.15 鬼みちを知らまい良しよまい事業
- No.16 我がまちお宝発掘事業

③ 情報が行きかう安全・安心なまち・・・

1. 安気なまちづくり事業

- No.17 まちの総点検事業
- No.18 高齢者を火災から守る事業
- No.19 防災力向上事業
- No.20 まちを明るくしよう事業
- No.21 防犯パトロール事業

2. “かわら版”事業

- No.22 “見てみりん”事業
- No.23 かわら版・Webかわら版運営事業



【事業についての表示のみかた】

- ① No.、事業名
- ② 事業内容(なにを どのように)
<優先度>

- A: 住民の意識が非常に高く、最優先で実施すべき事業(→来年度からでもすぐに着手したい)
- B: 住民の意識は比較的高く、優先して実施すべき事業(→今後2～5年の間には着手したい)
- C: 住民の意識は高くないが、実施が必要な事業(→今後6～10年先には着手できると良い)

- ③ 行動目標(どのぐらい)
- ④ 実施主体(だれが)

① 助け合いの心とぬくもりがあふれるまち・・・

1. 絆深め合い事業

① No.1 “高浜っ子” 応援事業

- ②子どもがのびのび育つように地域をあげて子育てを応援する。
子どもたちが遊びながら、人を思いやる心や、地域の一員としての仲間意識を育てるため、季節の行事やイベントを実施する。
遠足、もちつき、クリスマス会、新入生歓迎会など。〈A〉
- ③子どもたちが年1回は行事に参加する。
- ④子ども会、小学校、幼稚園、保育園

① No.2 ふれあい農園事業

- ②子どもと大人の交流や子どもが土と親しむことを目的にふれあい農園を設け、キュウリやサツマイモなどの四季おりおりの農作物を育てる。〈B〉
- ③収穫した農作物で自然とのふれあい、世代間のふれあいのイベントを年2回実施する。
- ④いきいきクラブ、幼稚園、保育園

① No.3 スマイルあいさつ事業

- ②あいさつにより、地域のつながりを深め、豊かな絆のあるまちを目指す。
 - ア 幼稚園、保育園、学校等に協力をお願いし、まず家庭内でのあいさつを推進する。その後、朝の交差点に立ち、あいさつをする等、知らない人同士でもあいさつが交わされる環境を整える。親ばかりでなく、子供も参加できるようにして、いろいろな方に参加してもらう。〈A〉
 - イ まち協のPRも兼ねて、あいさつ推進ののぼり旗を設置する。〈A〉
 - ウ 「あいさつ道路」を指定して、この道路を通った人は、あいさつをし合うように、「この道路は、あいさつ推進道路です。お互いに笑顔であいさつしましょう」などの看板を立てPR。〈B〉
- ③ア 通学路等の交差点に立ちあいさつの実施
 - イ あいさつ推進ののぼり旗を100本設置
 - ウ 「あいさつ推進道路」を1箇所指定し、看板を設置する。
- ④町内会、小中学校、幼稚園、保育園、PTA、いきいきクラブ

① No.4 高浜まち協大運動会事業

- ②高浜小学校のグラウンドや大山緑地などを利用して、子どもから高齢者までが参加できる4町合同の運動会を開催する。選手や審判員などグラウンドで活躍する人だけでなく、応援団や準備係などの裏方として支える人など、みんなが汗を流す地域住民総参加の運動会運営を目指す。競技種目は、フォークダンスや町内対抗リレーなど各団体から1つ提案してもらう。〈B〉
- ③年1回実施する
- ④まち協、町内会、子ども会、いきいきクラブ、小中学校、公民館

①助け合いの心とぬくもりがあふれるまち

2. 地域の「茶の間」運営事業

① **No. 5** 地域の「茶の間」(コミュニティプラザ) 運営事業

②まちづくり協議会の拠点であるコミュニティプラザの一角を「地域の茶の間」として、幼稚園等の送り迎えの前後の時間を利用した子育ての悩みや日ごろの困りごと相談の場、放課後の子どもの居場所、高齢者の憩いの場など、気軽に住民が集うことができるだんらんの場を創出する。〈B〉

③年間の利用者数を7,000人以上とする。

④まち協

① **No. 6** プラザふれあい教室事業

② ア 地域の方たちが講師となって、高齢者と子どもや園児の体操教室・将棋(五目並べ)教室など、親子のふれあいを深め、さらに世代間交流や健康増進を図るため、健康体操やヨガなどの講座を開催する。〈A〉

イ 地域の中のさまざまな方に学校活動の場などで活躍してもらうために、情報を収集して人材を登録し、情報提供する。(いろんな技能の講師・スポーツのコーチ・環境整備のボランティアなど)〈A〉

③ア 1週間に1回以上実施

イ 登録者数100人

④まち協

②美しい景観を守り育むまち...

1. クリーン・グリーン事業

① **No. 7**
花とみどりのマップづくり事業

②交流・美観・統一感を目的に、高浜小学校区内の“花とみどり”のネットワークを整備する計画やマップを作成する。〈A〉

③「花と緑のマップ」「花と緑の整備計画」を作る。

④町内会、さわたりスミレ会

① **No. 8 まちを花できれいにしよう事業**

- ②美観・防犯・交流を目的に、通りやコミュニティガーデンに、四季の花を植える。(花もも通り etc…) ガーデニング講座も実施する。〈B〉
- ・メッセージや名入りプランターの設置
設置エリア・・・三高駅周辺、放置自転車やゴミのポイ捨ての多いエリア
 - ・歩道などの各所に花を植える。草取りや水遣りなどの管理をしてもらう「里親」の募集をする。(「里親」は、1年更新をして、里親の継続の意思を確認する。)
- ③市民自らが花を植え、維持管理まで担える持続的な仕組みをつくる。
50mに1つのプランターを置く。
- ④まち協、町内会、子ども会、いきいきクラブ「里親」

① **No. 9 わがまちクリーンアップ事業**

- ②「みんなでまちをきれいにしよう条例」に基づく「環境美化推進地域」の指定を受け、地域が一丸となって積極的に環境美化のための取り組みを進め、快適で清潔な暮らしの実現を目指す。
モデル地域になって枝が道路に出て見通しの悪いところなど危険な箇所を調査・報告する。〈B〉
- ③高浜小学校区が美化推進地域となる。
- ④まち協

① **No. 10 鬼みちを歩いたらまちがきれいになっちゃう事業**

- ②イベントを兼ねてゴミ拾いやポイ捨て禁止啓発を実施する。〈A〉
単なるゴミ拾いだけでなく地域の歴史を再認識し、コミュニケーションも深まる。
- ・イベント(案)・・・「鬼みちを歩こう」
鬼みちを歩きながら高浜の歴史をたどる。
ウォークラリーをしながら、チェックポイントで歴史のクイズを行う。途中で「鴨ヶ橋」の言い伝えなど、高浜の歴史を紙芝居で紹介する。
- ③一斉清掃(年2回)の間に年2回行い、1年間に4回の清掃活動を実施
- ④鬼みち案内人の会、子ども会

① **No. 11 子どもとともに資源回収事業**

- ②子ども会とタイアップして資源回収を行う。
地域の交流、世代間の交流も図れて、子ども会の負担が減る。〈A〉
- ③子ども会の資源回収の回数である年2回実施
- ④子ども会、町内会、いきいきクラブ



② 美しい景観を守り育むまち

2. 大山魅力アップ事業

① No. 1 2 大山緑地「夢あかり」事業

- ②夜の千本桜鑑賞や健康づくりのために安心して散策を楽しめるよう、地域住民や企業等の希望を募り、名前やメッセージを入れた常設灯「夢あかり」を整備する。〈B〉
- ③「夢あかり」20基設置
- ④まち協、行政



① No. 1 3 大山緑地“素敵”事業

- ② ア 大山緑地を校区の最重点整備エリアと位置づけ、行政と協働で明るく、楽しく、ふれあいの拠点となるようデザインし、照明・ベンチ、花や木、遊具などを整備するとともに、ふれあい事業を展開する。〈A〉
- イ より楽しく大山緑地を散策するために淡墨桜やたぬき像などが公園のどこにあるかなどを表示した公園全体の案内板やマップを作成する。淡墨桜にも表示板をつけてわかりやすくする。〈A〉
- ウ 大山緑地美化活動の実施〈A〉
- ③ア、イ 毎年1カ所ずつ整備
ウ 年2回の美化活動を実施
- ④まち協、行政

① No. 1 4 大山緑地・桜まつり事業 (高浜まち協まつり事業)

- ② ア 千本桜ライトアップを行い、住民の憩い・世代間交流の場を創出するとともに、地域資源の再認識を図る。また、商店をはじめとする各種関係団体と連携して、休日等を利用したイベントを実施し、地域外からの来客誘致もねらう。(桜まつりが行われる4月は、各団体役員のかわり目時期であり、まち協が設立されて近年中にこの事業を行うことは難しい。現在春日町が行っているため、しばらくは現状維持で行う。)
〈C〉
- イ 町内会・子ども会・いきいきクラブといった各団体ごとに、例えばダーツ、たこ焼き、綿菓子というようなイベントブースを設ける。収益は各団体の活動費にする。〈C〉
- ③年1回桜まつりの開催
- ④ア 春日町町内会、子ども会
イ まち協、春日町町内会、観光協会、商工会

② 美しい景観を守り育むまち

3. 我がまち自慢事業

① No. 15

鬼みちを知ろまい良くしよまい事業

② ア 「鬼みちまつり」をはじめ、鬼のみちで開催される各種イベントや桜まつり時に、たかはまスポーツクラブなどと連携して、歩こう会を実施する。〈A〉

イ 鬼のみちの景観の魅力向上を図るため、鬼あかり（ランプシェード）づくりに参加して、鬼のみち沿道のライトアップを行う。〈A〉

ウ 鬼瓦を形どった作品づくりを子ども対象にかわら美術館で行う〈A〉

エ 鬼瓦に解説を付けて、鬼みちに飾る。何度歩いても飽きないように適時展示替えをする。〈A〉

オ 距離を長くするなど多様なコースの検討〈B〉

カ 地域のアイデアを活かした案内板を追加設置する。〈B〉

キ 手作りパンフレットを作成し、市内全戸に配布する。〈B〉

ク 鬼みち案内人の養成講座を実施する。〈B〉

ケ 大山公民館祭と鬼みちまつりの合同開催〈C〉

③ア、イ、ウ 年1回以上実施

エ 年一回以上展示替え

オ 3コース

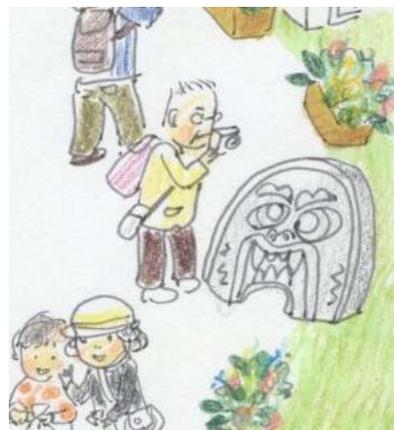
カ 迷わずに歩ける

キ 市内全戸配布

ク 20人

ケ 年1回開催

④ まち協、小学校
鬼みち案内人の会
鬼みちまつり実行委員会
観光協会、公民館

① No. 16 我がまちお宝発掘事業

② ア 浜地藏、チャラボコ、民話の里、鬼瓦、「どんどん」など歴史的な財産が高浜には多い。高浜の良さを知り、愛着・誇りを育むため、住民交流を兼ねながら、まちの「お宝」を発掘するためのまち歩きを行う。〈B〉

イ 発掘した「お宝」の情報を“高浜辞典”として情報発信していく。もともと高浜に在住している方だけでなく、転入の方にも高浜の魅力、良さを知っていただけるようにイベントを実施する。〈C〉

★小字（こあざ）ごとの民話の紹介
大型紙芝居、絵本

★残したい町並みを公募

「いつまでも残したい町並み」

撮影会・写生大会を開催し、応募作品、入賞作品をコミュニティプラザなどで飾る。

③ア 年1回実施

イ 年1回実施

④まち協、文化財保護委員会

③ 情報が行きかう安全・安心なまち

1. 安^{あん}気なまちづくり事業

① No. 17 まちの総点検事業

- ②歩いてまちの総点検を実施し、危険箇所や井戸水提供の家、自動販売機などを盛り込んだマップをつくる。まち協のジャンパー・帽子を着用してまちを歩き、まち協のPRも兼ねる。〈A〉
- ③マップを作成し、年1回更新する。
- ④町内会、小学校、PTA

① No. 18 高齢者を火災から守る事業

- ②外部に知らせるように火災報知機を外付けにしたり、ガスの電氣化など高齢者の火災対策の周知活動をする。〈B〉
- ③高齢者火災対策マニュアルの作成と全高齢者世帯に火報設置
- ④まち協、町内会、民生委員

① No. 19 防災力向上事業

- ② 普段の生活の場である地域全体を舞台に、実践的な内容の「発災対応型防災訓練」を行うなど、災害発生に対して臨機応変に対応できる力を養いながら、住民同士の助け合い精神を育む。
防災訓練等の事業活動を通し、災害の起こる前、起きた時、起こった後の対策について、情報共有を図り、災害時の迅速な対応につなげる。〈A〉
- ・ 実際の災害を想定した防災訓練を行う。
いつ来るか分からない災害に備え、平常時より要援護者支援のためのネットワークづくりやマニュアル等を整備し、それに即した形で訓練等を行う。防災啓発活動は、一年ごとに実施する。
子どもや地域の各団体など多くの住民が参加できるような訓練にする。
- ア 4町内会合同の防災訓練の実施
- イ 防災啓発活動（講演会、防災関連施設見学会など）の実施
- ウ 災害時安否確認マニュアルの策定
- エ 災害時要援護者への支援ネットワークづくり
- オ 緊急連絡体制の確立
- ③ア、イ 年1回以上実施
ウ、エ 地域住民全員対象
オ まち協と各団体間
- ④町内会、いきいきクラブ、小中学校、PTA、民生委員、社会福祉協議会、行政

① No. 20 まちを明るくしよう事業

- ② 夜間でも安心・安全に歩けるまちと魅力ある夜間景観を創出する。
- ア 暗い道等を把握し、センサー付きのライト等を必要なところから順次設置し、駅前やまちなかの暗い場所を明るくする。
〈A〉
- イ 街路灯の明るさを市の基準ではなく、まち協の基準（みんなが安心できる）の明るさをめざし、街路灯の整備を行う。
（青色・すずらん灯など街路灯の種類の検討）
〈A〉
- ウ 先進事例の見学〈A〉
- ③ア、イ暗くて不安な道をなくす
ウ 先進地3カ所実施
- ④まち協、町内会、行政

① **No. 2 1 防犯パトロール事業**

②青色回転灯装着車によるパトロールや散歩パトロール、あいさつ・声かけをしながらまちを練り歩くなど、住民一人ひとりができる範囲で気軽に参加できるパトロール活動を実施する。

ア 青パトによる防犯パトロールの実施<A>

イ 緊急パトロール体制の構築<A>

ウ 「パトロール」と書かれた看板を地域住民に配布し車や自転車につけてもらう。<A>

エ 防犯タスキを幼稚園の親に配布。(迎えの際に使用してもらう)<A>

オ 町内会班長に防犯チョッキ・帽子を広報配布時や散歩のときに着てもらう。<A>

カ 「こども110番の家」ののぼり旗を地域住民に配布する <A>

③ア 週1回以上実施

イ 緊急時すぐに対応できる

ウ 協力いただける方

エ 協力いただける方

オ 町内会班長全員

カ 協力いただける家

④まち協、町内会、幼稚園



③ 情報が行きかう安全・安心なまち 2. “かわら版” 事業

① **No. 2 2 “見てみりん” 事業**

②住民共通のテーマである安全・安心にかかる情報を共有するため、看板の設置を行う。(チカン、交通事故多発、ゴミすて禁止、避難場所 etc...) <A>

③立て札の作成

④まち協

① **No. 2 3**

かわら版・Webかわら版運営事業

②まちづくり協議会の通信紙「高浜かわら版」を発行し、生活に身近な話題など、まちのさまざまな情報を受発信する。

また、ホームページ「Webかわら版」を開設し、まちの口コミ情報掲示板など、地域の声の集約・交流の場、緊急連絡などの情報発信の場を創出する。(まち協がスタートしたら、すぐに始める。) <A>

③年4回会報発行ホームページを開設し、随時更新していく。

④まち協

	事業名	事業スケジュール(年度)							
		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	~2020
①	No.1 “高浜っ子” 応援事業	←							
	No.2 ふれあい農園事業				←	→			
	No.3 スマイルあいさつ事業								
	ア あいさつ実施		←						
	イ のぼり旗		←						
	ウ 看板					←			
	No.4 高浜まち協大運動会事業			企画...	実施				
	No.5 地域の「茶の間」運営事業				←				
	No.6 プラザふれあい教室事業								
	ア 教室事業	←	←						
	イ 人材登録	←	←						
②	No.7 花とみどりのマップづくり事業		←	→					
	No.8 まちを花できれいにしよう事業			←					
	No.9 わがまちクリーンアップ事業				←				
	No.10 鬼みちを歩いたらまちがきれいになっ ちゃう事業		←						
	No.11 子どもとともに資源回収事業	←	←						
	No.12 大山緑地「夢あかり」事業				←				
	No.13 大山緑地”素敵”事業								
	ア 照明、ベンチ etc..	←	←			→			
	イ マップ	←	←			→			
	ウ 美化活動		←						
	No.14 大山緑地・桜まつり事業 (高浜まち協まつり事業)	←	←	←	←	←	←	←	←
	ア 桜ライトアップ	←	←	←	←	←	←	←	←
	イ イベントブース設置	←	←	←	←	←	←	←	←
	No.15 鬼みちを知らまい良くしよまい事業								
	ア 歩こう会		←						
イ 鬼あかりづくり		←							
ウ 作品づくり				←					
エ 鬼瓦の展示						←	←	←	
オ コース検討						←	←	←	
カ 案内板						←	←	←	
キ パンフレット配布							←	←	
ク 鬼みち案内人養成講座							←	←	
ケ 大山公民館祭+鬼みちまつり								←	
No.16 我がまちお宝発掘事業									
ア お宝発見まち歩き						←	←	←	
イ 『高浜辞典』他イベント								←	
③	No.17 まちの総点検事業		←						
	No.18 高齢者を火災から守る事業						←	←	←
	No.19 防災力向上事業								
	ア 合同訓練		←						
	イ 啓発運動								
	ウ 安否確認マニュアル	←	←						
	エ 支援ネットワーク作り	←	←						
	オ 緊急連絡体制の確立	←	←						
	No.20 まちを明るくしよう事業								
	ア センサー付ライト		←						
	イ 街路灯整備		←						
	ウ 先進事例見学		←	←					
	No.21 防犯パトロール事業								
ア 青パト	←	←							
イ 緊急パトロール体制構築	←	←							
ウ パトロール看板配布		←							
エ 防犯タスキ		←							
オ 防犯チョッキ・帽子			←						
カ こども110番のぼり旗			←						
No.22 “見てみりん”事業		←							
No.23 かわら版・Webかわら版運営事業	←	←							

■ まちづくり計画図

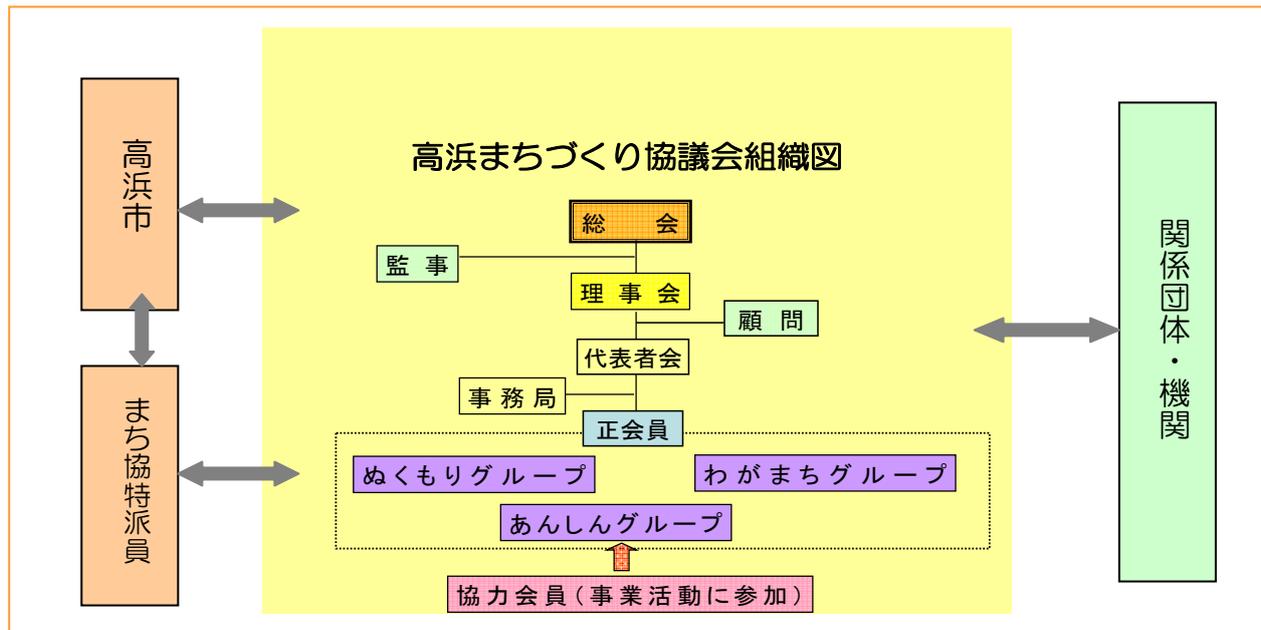


4. こうやって取り組んでいこう！ —まちづくりの推進方策—

(1)まちづくりの推進体制

高浜まちづくり協議会がパイプ役となり、地域計画を協働で推進していきます

協議会では、地域計画を機動的にすすめていくために3つのグループを編成。また、市の職員も「まち協特派員」として参画していきます。



(2) 行政との協働と役割分担に対する基本的な考え方

「地域でできることは、地域で行う」

「地域だけでできないことは、行政と協働して行う」を理念として活動します

高浜まちづくり協議会設立趣旨書

地方分権の時代の到来、世界に類を見ないと言われている少子高齢化の進展は、私たちが住む地域社会にも大きな変革をもたらしています。地方分権社会とは、地域のことは地域で決めて責任を持って実行するという社会であり、問題解決のモデルはあっても、それをそのまま自分の地域に当てはめることはできない、自ら解決の道筋を見出していかなくてはならない社会であり、そのため、これからは「地域でできることは、地域で行う」「地域だけでできないことは、行政と協働して行う」といった考えのもと、地域の自主的・主体的な取り組みが重要となってきます。しかし、近年、共働きや核家族化など、その基盤となる家庭や地域を取り巻く環境は、大きく変化してしまいました。

ここ高浜地区は、江戸時代から瓦を中心とする窯業が盛んで「衣浦観音」「土管坂」「大山の大タヌキ」など、景観や文化遺産としてまちなみの中に息づいており、また「大山緑地の千本桜」や「えんちょ獅子」「おまんまとまつり」なども住民共有の財産として、今日まで受け継がれ親しまれています。私たちは、これら先人たちが培った“財”から、知恵と努力を学び、人と人とのつながり、助け合いといった心の豊かさを再生させる「新しい社会」を創り上げていかなければなりません。

青木町、春日町、沢渡町、稗田町の高浜地区の住民や各種団体が、互いに協力し、自治意識の向上を図るとともに「豊かな絆を結び合う愛着と誇りを持てるまちづくり」を目指して、ここに「高浜まちづくり協議会」を設立します。

平成21年5月30日 高浜まちづくり協議会設立準備委員会

5. 参考資料

(1) 地域計画策定経過

【平成20年】

- 1月24日 高浜小学校区のまちづくり協議会の設立に向けて
第1回勉強会開催
- 2月21日 第2回勉強会
- 3月28日 第3回勉強会
- 4月24日 新委員勉強会
- 5月1日 第4回勉強会
- 5月27日 第1回高浜まちづくり協議会設立準備委員会
- 6月19日 第1回代表者会
- 6月27日 第2回高浜まちづくり協議会設立準備委員会
- 7月中旬～
8月上旬 高浜小学校区にてアンケート調査実施
- 7月31日 第3回高浜まちづくり協議会設立準備委員会交流会
- 8月27日 第4回高浜まちづくり協議会設立準備委員会
意見の分類 786枚890件
- 9月15日 第2回代表者会
- 9月24日 第5回高浜まちづくり協議会設立準備委員会
意見の分類
- 10月10日 第3回代表者会
- 10月21日 第4回代表者会
- 10月30日 第6回高浜まちづくり協議会設立準備委員会
意見募集のとりまとめ、スローガン「豊かな絆
を結び合う 愛着と誇りを持てるまち」に決定
- 11月14日 視察 三重県伊賀市柘植地域まちづくり協議会
- 11月27日 第7回高浜まちづくり協議会設立準備委員会
まちづくり計画の検討
- 12月22日 第1回役員会
- 12月25日 第8回高浜まちづくり協議会設立準備委員会

【平成21年】

- 1月15日 第2回役員会
- 1月20日 第5回代表者会
- 1月30日 第9回高浜まちづくり協議会設立準備委員会
- 2月13日 第3回役員会
- 2月20日 第6回代表者会
- 2月25日 第4回役員会
- 2月26日 第10回高浜まちづくり協議会設立準備委員会
- 3月17日 あんしんグループ会議
- 3月25日 わがまちグループ会議
- 3月27日 第11回高浜まちづくり協議会設立準備委員会
- 4月9日 第5回役員会
- 4月14日 第7回代表者会
- 4月24日 第12回高浜まちづくり協議会設立準備委員会
- 5月12日 新会員勉強会
- 5月15日 わがまちグループ会議
- 5月30日 まちづくり協議会承認



(2)策定メンバー

(高浜まちづくり協議会設立準備委員会委員)

氏名	所属・役職等
岩月安雄	20年度青木町町内会長
井上光弘	// 副会長
鈴木清文	19年度青木町町内会長
野口健治郎	18年度青木町町内会長
磯貝徳晶	20年度春日町町内会長
浅岡保夫	// 副会長
石川定次	19年度春日町町内会長
天野喜代次	18年度春日町町内会長
森 純一	20年度沢渡町町内会長
横山道彦	// 副会長
神谷剛彦	19年度沢渡町町内会長
伴 陽司	18年度沢渡町町内会長
杉浦 一	20年度稗田町町内会長
杉浦久喜	// 副会長
菱田倉三郎	19年度稗田町町内会長
神谷利郎	18年度稗田町町内会長
神谷利信	大山公民館長
坂倉澄夫	高浜小学校長
稲垣俊博	高浜小学校教頭
岩井雄輔	20年度高小PTA会長
古関 隆	// 副会長
神谷元嗣	19年度高小PTA会長
山田悦子	20年度高浜地区子ども会育成会会長
村松美由紀	// 副会長
神谷小百合	20年度あおき子ども会会長
森下美鈴	// 副会長
杉浦眞弓	20年度かすが子ども会会長
内藤昌美	// 副会長
藤網眞由美	20年度さわたり子ども会会長
清水とよみ	// 副会長
天木直美	20年度ひえだ子ども会会長
伊藤初美	// 副会長
北川奈保美	20年度高浜幼稚園PTA会長
川口法代	// 副会長

氏名	所属・役職等
神谷知里	20年度中央保育園保護者の会書記
天木久美子	// 会計
都築靖枝	20年度高浜婦人会会長
山本芳恵	// 書記
杉浦園枝	19年度高浜婦人会副会長
上井善美	20年度青木クラブ会長
杉浦 忠	19年度青木クラブ会長
柘植 勲	20年度春日いきいきクラブ会長
山本義己	19年度春日いきいきクラブ会長
杉浦義美	20年度沢渡会会長(民生委員)
都築富也	19年度沢渡会会長
板倉正勝	20年度稗田クラブ会長
渡邊公太	19年度稗田クラブ会長
石川禮子	19年度いきいきクラブ女性部会長
鈴木貴雄	20年度消防団第一分団長
岩月和子	鬼みち案内人の会
安藤典子	民生委員
山本恒慈	社会福祉協議会

(高浜市役所まち協特派員)

氏名	所属
森野 隆	高浜市地域福祉グループ
岡島正明	高浜市地域政策グループ
岩月民子	高浜市税務グループ
間瀬敬治	高浜市情報管理グループ

高浜まちづくり協議会 まちづくり計画

-高浜小学校区 地域計画-

2009年5月

編集・発行 高浜まちづくり協議会設立準備委員会